

## 第 4 回 障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会における主な意見（令和 3 年 3 月 12 日）

- 福祉と雇用の横断的なアセスメントの実現を是非お願いしたい。他方、1 回のアセスメントだけで障害者の適性等を固定化することなく、定期的に実施することが重要であり、そのための仕組みを検討してほしい。また、アセスメントの仕組みに、職業訓練校も入れて欲しい。
- 福祉と雇用で別々ではなく、アセスメントの一本化は重要であり、将来的に目指すワンストップ化そのための議論が必要。
- アセスメントの結果を合理的配慮につなげることが望ましい。将来的には一本化していくという方向性が重要。できるところから着手するとしても、最終的に共通化をすることを念頭に置きつつ、ツールやプロセスに係る検討を進めていくことが望ましい。
- 福祉と雇用の横断的なアセスメントを行うためのスキームを作成し、福祉分野の現場においても幅広く活用していただきたい。雇用分野における運用の強化についてどう検討するのか。アセスメントを意識した運用とするためには、法令の規定に加える等の対応も一つではないか。